AI 責研

一般社団法人笹川経済支援機構
AI責任設計研究会

AIで、自ら変わる組織へ

PEOPLE
AI
SOCIETY
RESPONSIBILITY
TO THE NEXT



日本の組織が学び続け、世界に新たな価値を生む

AIに何を任せ、
人がどこで判断し、
誰が責任を担うのか。
実践から学び、
組織の変革につなげます。

第3期　日本の組織の変革と価値創出を、実践から共に考える

1. 変化への適応

日本の組織が変化に素早く
安心して適応し、
世界に貢献し続ける
土台をつくる。

2. 試行錯誤の知見化

人と組織の試行錯誤を
未来の判断に生かし、
社会全体の学びと
進歩につなげる。

3. 事業と仕事の革新

AIを契機に事業と
仕事のあり方を革新し、
新たな価値を生み出す。

開催概要

- 全3回　2027年2月2日(火)・3月4日(木)・4月8日(木)
- 各回 18:00〜20:00
- 東京・永田町／半蔵門周辺
- 参加費 36,000円（税込）
- オフライン・少人数制・全国共通

第3期のお申込みはこちら

詳細・お申し込み



主宰者の著書

『AIに何を任せ、人間は何を決めるのか』
経営者のための8つの責任設計

Amazonでの購入はこちら

一般社団法人笹川経済支援機構　AI責任設計研究会

お問い合わせ: matsuoka@ard-institute.jp
研究会サイト: https://ard-institute.jp

ＡＩ責任設計研究会

AI Responsibility Design Institute

一般社団法人笹川経済支援機構　AI責任設計研究会



PEOPLE
AI
SOCIETY
RESPONSIBILITY
TO THE NEXT

第３期 理念を、実践へ

共通ケースと議論を通じ、自社の実践方針をまとめます。

第1回
2027.2.2（火）
18:00〜20:00

AIと人の役割を考える

目的・判断範囲・最終判断者を整理し、
AIを生かす人の役割を考える。



第2回
2027.3.4（木）
18:00〜20:00

実践を支える責任を設計する

作る・確かめる・使うの役割を分け、
発注者と開発会社の責任分界を考える。



第3回
2027.4.8（木）
18:00〜20:00

方針をまとめ、次の実践へ

運用の振り返りと見直し・撤退の判断を整理し、
自社のAI責任設計と次の課題をまとめる。



自社のAI活用を、次の一歩へ。

- AIに任せる業務と、人が判断する場面を明確にする
- 導入後の確認・見直しまで、自社の進め方を描く
- 他社の視点や議論を、自社の判断に活かす

全3回のワークブックと共同研究レポートを、
持ち帰って実務に活用できます。

次の学びへ

実践を、次の人の学びへ。

各自の判断を持ち寄り、対話を通じて比較する。

自社への持ち帰りとともに、共通する論点や
他の参加者にも役立つ知見を蓄積します。

一人ひとりの実践を、次の学びへつなげます。



主宰 松岡 誠一郎

一般社団法人笹川経済支援機構　AI責任設計研究会

元陸上自衛隊幹部。海外PKO・司令部勤務を経て、
現在は企業のAI導入を発注者側から設計・支援。組織が自ら判断し、実践から学び続けるための仕組みづくりに取り組む。

研究会サイト

第３期のお申込みはこちら

全３回 36,000円（税込）／ 少人数制・定員に達し次第締切

matsuoka@ard-institute.jp　https://ard-institute.jp/

